

【地方創生拠点整備交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：低年齢児向け“おもちゃ博物館”リノベーション事業

事業概要： 本事業により、1階及び3階にクッション性のある屋内遊戯施設を整備することで、0～2歳の低年齢児が快適に怪我なく遊べる施設を目指します。また、個別型空調管理のための改修工事を実施して、体温調節機能が未発達の子どもの安全に過ごし、子育て世代の親や祖父母が安心して見守ることができる施設の実現が可能となります。これらのリノベーションにより、施設の魅力を飛躍的に高め、平日を中心に新たな利用者層の拡大、リピーターの増加を図ります。

子育て世代の中でも、0～2歳の低年齢児を持つ保護者は、子どもの体調変化や動きなどに常に目を配る必要があり、特に平日は親子のみで過ごす場合が多いことから、少しリフレッシュしたいという要望も高く、屋内で安心して半日程度を過ごせる施設が求められているところであり、本事業のリノベーションでこうしたニーズに応えることで、リピーターの確保や年間パスポート（3,000円）の購入促進が期待できます。本事業の実施により、0～2歳の低年齢児と保護者が安全安心に過ごせる居場所づくりという子育て支援と、既存の観光資源の有効活用による広域的誘客の両立が可能となります。

実施内容【壬生町おもちゃ博物館】

- ・0～2歳児向け遊戯室リノベーション 2箇所
- ・個別型空調管理整備 1箇所

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前 (H31.3)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(増加分累計) (R7.3)
観光客入込数		3,709,996人	2,096,029人	2,227,746人	2,665,324人			155,000人
実績値の分析・評価	新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止等により大幅に減少しているものの、徐々に人出は復活しつつある。							
今後の取組み	SNS等による観光案内等の強化、新しい生活様式を基本とした集客イベントの企画等を進め、観光客入込数の回復及び増加に努める。							
KPI	商工観光課	事業開始前 (H31.3)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(増加分累計) (R7.3)
壬生町おもちゃ博物館入館者数		242,660人	36,002人	53,666人	175,915人			12,000人
実績値の分析・評価	新型コロナウイルス感染症に関する影響が幾分残っているものの、R4年度はイベント開催を控えていたことも踏まえると、入館者数の回復傾向は顕著である。							
今後の取組み	特に、今後利用回復が見込まれる団体客ターゲットを絞った宣伝広告などを鋭意進めるとともに、実施可能なイベントの開催を推進し、博物館利用者の回復及び増加を図る。							
KPI	商工観光課	事業開始前 (H31.3)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値(増加分累計) (R7.3)
壬生町おもちゃ博物館年間パスポート利用者数		1,008人	160人	355人	1,057人			800人
実績値の分析・評価	新型コロナウイルス感染症予防対策後、パスポート利用者が急増している。コロナ禍を経て、子育て世代の間で、安全安心で快適な施設であるとの認識が高まっているものと推測する。							
今後の取組み	特に、今後利用回復が見込まれる団体客ターゲットを絞った宣伝広告などを鋭意進めるとともに、実施可能なイベントの開催を推進し、博物館利用者の回復及び増加を図る。							

【第2期壬生町創生総合戦略効果検証シート（令和4年度事業）】

※「第2期壬生町創生総合戦略」のKPIを記載しておりますので、冊子と併せて御確認してください。

基本目標1：壬生町における安定した雇用を創出する

数値目標	総合政策課	基準値 (H27)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
就業者数(国勢調査)		19,919人	19,510人	-	-	-	-	20,516人

○戦略プロジェクト1-1：産業の振興と雇用の創出

重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
産業振興奨励金交付企業数		8社	4社	3社	3社			15社(累計)
実績値の分析・評価	平成28年度にみぶ羽生田産業団地に一部操業を開始した企業の敷地内工場への、奨励金の交付を開始した。みぶ羽生田産業団地が1社による買い上げとなったためR2に交付企業数は減少したが、工場の増設を予定している事業者は複数いるためその後交付企業数は微増してきている。							
今後の取組み	工場立地法の権限移譲に伴い、平成29年度に緑地面積等の緩和する条例を制定し、今後の企業の増改築を促し、産業の振興を図る。また、現在分譲できる工場用地が無いことからみぶ羽生田産業団地の東に新産業団地を整備するため、県関係機関との調整を進め事業化に向けて推進しているところである。							
KPI	商工観光課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
就労情報提供数		64回	83回	66回	72回			70回
実績値の分析・評価	長引くコロナ禍の影響により、合同就職面接会や県と連携した就職セミナーなどが開催できなかった。その分ハローワークとちぎ求人情報の窓口への設置やチラシの配架、広報紙、ホームページへの情報掲載が増加した。							
今後の取組み	求人情報のほか、コロナ禍での就活サポートや新卒向けの企業説明会、企業合同説明会などの開催案内に加え、女性や高齢者等に特化した新規就業を促進するセミナーや相談会を引き続き開催し、就労につながる情報を幅広く提供していく。							

○戦略プロジェクト1-2：農商工業連携による町の活性化

KPI	農政課	基準値 (R1.7)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
認定農業者数		215人	208人	207人	206人			250人
実績値の分析・評価	自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする意欲ある農業者を認定農業者として認定し、農地集積や制度資金の活用等に対する支援を行った。令和4年度は新たに6経営体が新規に認定農業者となったが、新規認定農業者の多くは親から子でに認定の切替であり、また高齢化等により認定の更新をしなかった農業者もいたことから、目標値を下回った。							
今後の取組み	県等の関係機関と協力しながら、認定農業者の確保・育成を推進し、町農産物のブランド力向上や販路拡大、産地基盤の強化を図る。							
KPI	商工観光課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
地域ブランド品目認定数		31件	35件	36件	36件			40件
実績値の分析・評価	みぶブランド制度の浸透により、新規件数は着実に伸びている。							
今後の取組み	みぶブランド総体としてのイメージアップ及びPRの推進、並びに認定数が増加する中でのみぶブランドの「見せ方」の工夫及びスムーズな事業継承による商品の持続性確保に努める。							

○戦略プロジェクト1-3：地域産業を守る後継者の育成

KPI	農政課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7までの累計)
新規就農者数		5人	3人	3人	2人			10人
実績値の分析・評価	町農業委員会や県、JA等の関係機関と連携し、新規就農希望者が抱える「技術」・「農地」・「資金」の相談に丁寧に対応することにより、新規就農者を確保することができた。							
今後の取組み	関係機関との連携強化により就農検討段階から農業への定着まで一貫した支援を行う体制づくりを目指す。新規就農支援サイトを活用し就農希望者から選ばれる魅力的な就農地として壬生町を町内外にPRしていく。							

基本目標2：壬生町への新しい人の流れをつくる

数値目標	商工観光課 住民課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
観光客人込数		370.9万人	209.6万人	222.8万人	266.5万人			5%増加 (389.5万人)
転入者数(住民基本台帳)		1,350人	1,192人	1,241人	1,486人			5%増加 (1,417人)

○戦略プロジェクト2-1：タウンプロモーションによる定住促進

KPI	総合政策課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
壬生町公式ウェブサイトアクセス数		36,283件/月	51,794件/月	59,703件/月	51,369件/月			40,000件/月

実績値の分析・評価

令和3年度は壬生町公式ウェブサイトを通じて新型コロナウイルス感染症のワクチン接種予約によりアクセス数が非常に伸びたと思われる。
令和4年度は、予防接種方法が個別接種に重心を置き始めており、アクセス数は令和2年度とほぼ同数に落ち着いたものと思われる。スマートフォンの普及によりウェブを通じた情報発信の重要性は年々高まっていることから、住民に対して情報をいかにわかりやすく伝えていくかが課題となっている。

今後の取組み

令和5年5月の新型コロナウイルスの5類移行に伴い、イベント等も平時並みになることを考えると、情報発信強化が重要になると考えている。今年度予定している公式ウェブサイトのリニューアルや町と関連する公式SNSとともに積極的かつわかりやすく情報を発信していく。

KPI	総合政策課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
ふるさと応援寄附件数		5,357件	2,720件	2,573件	2,392件			6,000件

実績値の分析・評価

令和元年度の地方税法改正に伴い、玩具を中心とした取り扱える返礼品が減少したことから、本町の寄附件数は減少傾向となっている。寄附金額については、令和4年度は、56,965,000円となり前年度の53,951,000円と比較すると約1.1%の上昇となる。昨年度と比較すると返礼品の単価が高いものに寄附が集中していると考えられるが、全体的な寄附件数の底上げが課題となっている。

今後の取組み

デジタル広告の活用やふるさと納税ポータルサイトへ掲載する返礼品の新規開拓を図ることで、寄附件数の底上げを図りたい。また、ポータルサイトへ掲載している返礼品の写真を見直すことで、返礼品の見栄えを改善し、寄附者の増加に繋がる取組みを実施する。

○戦略プロジェクト2-2：壬力ある観光・交流の促進

KPI	商工観光課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
みぶハイウェーパーク来訪者数		226.1万人	128.1万人	148.9万人	179.1万人			250.0万人

実績値の分析・評価

コロナ禍により減少した来場者は徐々に回復してきている。また5類への移行により外出等の制限がなくなり、今後の来場者増加に期待が持てる。

今後の取組み

「道の駅みぶ」の第3ステージへの発展に取り組み、とちぎわんぱく公園やおもちゃ博物館と一体の魅力ある道の駅であることを更にアピールし、1日遊べる道の駅であることを認知してもらい、来場者アップにつなげていく。

KPI	商工観光課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
町内の東武鉄道駅乗降客数		7,045人	5,465人	5,940人	5,963人			7,300人

実績値の分析・評価

新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止、会社や学校のリモート化、外出の自粛などに伴い、減少傾向は継続している。

今後の取組み

首都圏における各種プロモーション活動、お殿様料理などの観光ツールの磨き上げ、SNSでの情報発信等により、新たな観光客の誘致を図る。また、「壬生ふるさとまつり」や「おもちゃ団地チャリティバザール」等の集客の多いイベントは、公共交通機関利用促進PRを強化し、電車利用による誘客を図る。

○戦略プロジェクト2-3：郷土愛の醸成によるUIターン推進

KPI	生涯学習課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
中学生等地域活動参加人数(延べ人数)		432人	0人	146人	338人			500人

実績値の分析・評価

感染症対策の影響が続いている中、開催するイベントが増えつつあることから前年比231.5%の人数に参加をいただいております。町内中学生の地域活動に対する意識の高さが感じられる。

今後の取組み

次代の担い手である中学生等に対して、地域の大人と共に地域社会で活躍できる機会を地域団体等との協働により提供していく。中学生等が様々な価値観や人生観を有する地域の大人とのかかわりあいを通して、自己肯定感や郷土愛を高めたり、人の役に立つ経験を通して、自己有用感を育める事業を展開する。
令和4年度の活動では感染症対策等により参加者と地域との交流が難しい状況であったことから、今後は参加者と地域の相互交流が図れるような事業を展開したい。

基本目標3：壬生町で結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	こども未来課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
合計特殊出生率		1.25	1.22	1.15	1.40			1.80

※R4の町数値はまだ未公表であるため、目標値を算出しています。

○戦略プロジェクト3-1：すくすく安心の子育て支援

KPI	こども未来課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
学童クラブ利用者数		598人	652人	680人	703人			650人
実績値の分析・評価	少子化が進む中でも、共働きやひとり親家庭の増加、防犯上の不安等の理由で学童保育に対するニーズは年々高まり、高学年の児童は希望に沿った利用が出来ていない状況である。							
今後の取組み	子育て世代が安心して事業を利用できるように、今後も施設整備等を検討していく。							
KPI	こども未来課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
保育園等利用者の割合		67.8%	70.8%	74.3%	75.2%			80.5%
実績値の分析・評価	年度末時点の保育園等の利用割合は増加傾向にある。壬生町在住の0歳から5歳児の人口減少と保育を必要とする世帯の増加が要因として考えられる。							
今後の取組み	保育園等の利用希望者が、希望するタイミングで園の利用をできるよう、園や他市町村との連携を強化していく。							
KPI	こども未来課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
子育て応援サイトアクセス数		1,707件/月平均	2,703件/月平均	1,695件/月平均	1,635件/月平均			2,500件/月平均
実績値の分析・評価	子育て応援サイトへのアクセス数は、ここ数年横ばいであるが、子育て世代の負担軽減を図るため、今後もタイムリーな子育て情報の発信していきます。							
今後の取組み	子育て応援サイトに掲載する記事の情報量を増やす等、質の向上に努めるとともに、併せてオンラインでの活動も増やしていく。							

○戦略プロジェクト3-2：素敵な出会い支援と結婚観の向上

KPI	こども未来課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
婚活支援事業数		1事業	0事業	0事業	0事業			3事業
実績値の分析・評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き過去3年間は、イベントの開催ができなかった。							
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことを踏まえて、今後は感染症対策を実施しながらの婚活イベント開催が見込まれています。 また、令和5年度より若い世代の結婚に伴う新生活を支援するため結婚新生活支援事業を開始したことに加え、今後はとちぎ結婚支援センターのPRに力を入れるなど、結婚に前向きになれる環境づくりを実施していく。							

○戦略プロジェクト3-3：ワーク・ライフ・バランスの推進

KPI	商工観光課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
ワーク・ライフ・バランス啓発件数		11件	41件	42件	42件			15件
実績値の分析・評価	平成29年度より国が推進する施策に合わせ、働き方改革の取り組みへの周知が増加した。また、R2は、新型コロナウイルス感染症の影響による経営相談会を商工会を会場に実施した。R3以降については相談会は実施してはいるが、引き続き相談は受け付けている。他、ポスターやチラシにより休暇の取得促進や過労死防止について啓発を実施した。							
今後の取組み	壬生町商工会や町内企業団体の組合等での、定期的な無料相談会の開催の検討及び広く事業主へ周知を促していく。今後も継続的に広報紙、ホームページ等により普及啓発活動を実施し、企業の労働条件の改善を促進していく。また、HPに労働に特化したページを作成し、啓発を推進する。							

基本目標4：壬生町で安心して元気に暮らす

数値目標	健康福祉課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
要介護認定者数		1,828人	1,944人	1,927人	2,013人			2,200人以内 (増加率20%以内)

○戦略プロジェクト4-1：安全で利便性の高いまちづくり

KPI	総務課	基準値 (R1.12)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
自主防災組織数		25団体	31団体	34団体	35団体			40団体
実績値の分析・評価	令和4年度に1団体が設立された。毎年着実に増加している。							
今後の取組み	未設置の自治会に情報提供を実施し、自主防災組織の整備率を上げていきたい。							
KPI	生活環境課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
人口千人あたりの犯罪被害件数		4.46件	4.69件	4.12件	5.28件			4.23件
実績値の分析・評価	<p>コロナ禍ではあったが、秋・年末の地域安全運動期間において、町防犯組合連絡協議会、地区防犯組合による街頭広報活動による住民への啓発活動を実施した。町安全安心指導員による防犯教室も前年より多く実施することができた。特殊詐欺の電話に有効な特殊詐欺対策電話機等購入費補助金については、令和2年の開始以降毎年30数件の実績となっている。</p> <p>一方、今年に入ってから特殊詐欺による被害が発生したほか、令和4年の刑法犯数についても、重点抑止犯罪数は減少したものの、窃盗犯の件数が増加したことなどにより令和3年よりも増加している。</p>							
今後の取組み	<p>特殊詐欺対策電話機等購入費補助金事業については、実施期間を延長したが、更なる制度周知を行い、高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を図っていく。</p> <p>警察をはじめ、各防犯組合との連携を強化し、啓発活動、防犯パトロールなどを実施していく。</p> <p>また、防犯教室の開催を引き続き実施していきます。</p>							

○戦略プロジェクト4-2：活き活きと町民が躍動するまちづくり

KPI	生活環境課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
町民活動センター「みぶりん」登録団体数		315団体	330団体	338団体	356団体			430団体
実績値の分析・評価	平成26年度開設から9年が経過した。登録団体が参加する「みぶりん活動発表会」もこれまでに13回開催されている。みぶりんによる継続的なサポートにより、登録団体数も年々増加している。今後も、協働のまちづくり推進拠点としての役割を高め機能強化を図って行きたい。							
今後の取組み	壬力UPボランティア活動支援事業による団体支援や町民活動支援センター利用者協議会を通じた団体間の連携強化など、これまでも登録団体の活動の支援を行ってきた。今後も未登録の団体等へ呼びかけるなどして登録団体数の増加を図る。また分野別交流会を開催し、団体の横のつながりを強化し、さらに活動を活性化させていく。							

○戦略プロジェクト4-3：健康長寿のまちづくり

KPI	住民課	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R5)
特定健診受診率		32.2%	21.7%	30.8%	32.5%			52.2%
実績値の分析・評価	<p>令和2年度から令和3年度にかけて受診率が大幅に回復したことと比べると、令和4年度は微増に留まった。新型コロナウイルス感染症の影響から脱しつつあり、平成30年度の水準に近づいてきてはいるが、まだ完全に回復してはいない。</p> <p>目標値まではまだまだ大きな開きがあり、近隣の市町と比べると特に個別健診（個別の医療機関にて実施する特定健診）の受診率が低いため、重点的に対策していきたい。</p>							
今後の取組み	<p>個別健診に関しては、これまでも年齢制限の撤廃などの対策を行ってきたが、本年度は特定健診の受診対象者全員への受診券の事前交付を行うことにより、健診前に受診券の送付を申込み必要があった昨年度までと比べて、申込みの手間を減らすことで個別健診がより受診しやすい環境を整備している。</p> <p>また、本年度は集団健診においても、試験的に19時まで受付が可能な「夜間の日」を設けるなど、受診率の向上を目指した試みを行っている。</p>							

【国土強靱化地域計画効果検証シート（令和4年度事業）】

※「壬生町国土強靱化地域計画」のKPIを記載しておりますので、冊子と併せて御確認してください。

目標1：直接死を最大限防ぐ

重要業績評価指標 (以下、KPI)	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
自主防災組織の整備率		34.6%	38.3%	41.9%	43.2%			100%
実績値の分析・評価	令和4年度に1団体が設立された。毎年着実に増加している。							
今後の取組み	未設置の自治会に情報提供を実施し、自主防災組織の整備率を上げていきたい。							
KPI	建設課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
空家除却数		-	3棟	4棟	2棟			15棟
実績値の分析・評価	倒壊等のおそれのある老朽空家については早急な対策が必要であり、危険な状態となる前に除却をするよう所有者に指導していく必要がある。							
今後の取組み	引き続き倒壊等のおそれのある危険な老朽空家の所有者に対し、除却や適正管理の指導等の対策を進める。							
KPI	学校教育課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
ブロック塀の安全点検及び安全対策の促進(町内3小学校)		840m	829.2m	829m	829m			0m
実績値の分析・評価	令和2年度に該当する3小学校のブロック塀の実測を行い数値を修正、劣化調査を委託により実施し、調査報告内容を基に安全対策を講じていく必要があります。							
今後の取組み	劣化調査の報告内容に基づき、危険と判断された部分を中心にブロック部分を、メッシュフェンスに更新し、ブロック塀の撤去を実施していきます。							
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
消防団定員充足率		89.7%	89.2%	90.1%	87.2%			100%
実績値の分析・評価	定員203名に対して消防団員数が177名となっている。年々欠員数が増加傾向にある。							
今後の取組み	全国的に消防団員の確保が難しい現状があるが、消防団員の負担軽減、処遇改善を図り、イメージアップに努めていきたい。							
KPI	都市計画課	基準値 (R2)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
住宅の耐震化率		88.4%	88.4%	90.3%	90.9%			95.0%
実績値の分析・評価	R4年度は、町の住宅耐震化促進事業補助金の申請実績(改修・建替)は無かったが、新築件数により総体的な耐震化率の向上となった。							
今後の取組み	広報紙や対象住宅所有者へのDM発送、個別訪問等により、住宅の耐震化の重要性をPRし、更なる耐震化の促進を図る。 また、現在実施している住宅耐震化促進事業補助金についても事業を継続し、耐震化の促進を図る。							
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
防災メール登録者数		2,000人	2,499人	2,601人	2,680人			4,000人
実績値の分析・評価	令和元年度に発生した台風19号の影響により登録者数が増加した。							
今後の取組み	広報紙や町の公式WEBで防災メールの登録の周知を行っていききたい。							

目標 2：救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

KPI	建設課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
重要物流道路整備率		57.1%	57.1%	57.1%	63.4%			100%
実績値の分析・評価	重要物流道路の主な路線は昭和40年代に整備された道路であるため経年劣化により損傷が進んでおり、現在の道路利用や災害時の緊急輸送道路網を考えると早急に整備を進めていく必要がある。							
今後の取組み	災害発生時に被災地域への救援物資等を迅速かつ確実に輸送できるように、令和3年度から交付金を活用し順次道路整備を実施いくことで、緊急輸送道路網を構築していく。							
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
消防センター耐震化整備率		100%	100.0%	100.0%	100.0%			100%
実績値の分析・評価	消防センターについては耐震化整備率は、既に100%となっている。							
今後の取組み	今後消防センターの老朽化に対応するため、長期修繕計画により適切な時期に修繕を実施していく。							
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
一時避難に関する協定数		1件	1件	1件	1件			3件
実績値の分析・評価	昨年度と同数であり、1件となっている。							
今後の取組み	大規模災害に対応するためにも、一時避難に関する協定の締結に向けて情報収集を行ってきたい。							
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
災害対応訓練実施状況		1回	1回	0回	0回			2回
実績値の分析・評価	令和3年度及び4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。							
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、防災関係団体等が参加する総合防災訓練の開催を検討する							

目標3：必要不可欠な行政機能は確保する

KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
災害対策本部非常用電源機能整備		整備済	整備済	整備済	整備済			新庁舎建設時に対応
実績値の分析・評価	災害対応業務に72時間対応可能な非常用発電設備を屋上に設置済み。							
今後の取組み								
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
災害対策本部訓練実施回数		0回	0回	0回	0回			1回
実績値の分析・評価	未実施。							
今後の取組み	総合防災訓練の開催に併せて実施を検討する。							

目標4：必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
情報通信施設の非常用発電機配備率		100%	100%	100%	100%			100%
実績値の分析・評価	整備済み							
今後の取組み								
KPI	総務課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
避難所用非常用発電機設置個所数		0%	100%	100%	100%			100%
実績値の分析・評価	避難所に非常用発電機を整備済み							
今後の取組み								

目標5：経済活動を機能不全に陥らせない

KPI	商工観光課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
BCP策定支援事業者数		0事業所	0事業所	0事業所	0事業所			6事業所(累計)
実績値の分析・評価	長引く新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰・エネルギー価格高騰等の影響により、BCP策定のための事業者支援は行えなかった。							
今後の取組み	緊急時に、倒産や事業所縮小を余儀なくされないために、栃木県BCP策定支援事業を活用し、BCP策定に取り組む事業者を支援していく。							
KPI	商工観光課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
BCP策定セミナー情報提供		6回	1回	3回	2回			36回(累計)
実績値の分析・評価	新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰・エネルギー価格高騰等の影響により、事業者への金銭的支援策の情報提供が増加したためBCP策定の情報提供は減少した。							
今後の取組み	中小企業が緊急事態に遭遇した時に、事業の縮小や廃業に追い込まれないためのBCP早期策定ができるよう、セミナー開催などの情報を提供していく。							
KPI	農政課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
下稲葉地区圃場整備事業進捗率		38%	58%	67%	85%			100%
実績値の分析・評価	平成29年度の事業着手から6年が経過した令和4年度の事業量ベースでの進捗率は85%となっている。							
今後の取組み	事業主体の栃木県と下稲葉地区圃場整備委員会・土地改良区と連携し、早期の事業完了と事業効果の発現を目指す。							

目標6：ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

KPI	水道課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
管路の耐震化		5,834m	6,045m	6,534m	6,592m			8,004m
実績値の分析・評価		自然災害発生時の水道機能を確保するため、災害拠点施設となる病院（獨協）に供給する基幹管路を優先耐震化路線として、耐震化工事を実施しました。						
今後の取組み		耐震化優先路線の整備を推進するとともに、耐震化に適合していない管路の耐震化を計画的に進めていきます。						
KPI	水道課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
配水場の耐震化		0施設	0施設	0施設	1施設			2施設
実績値の分析・評価		令和4年度に南部配水場の更新工事がすべて完了し、配水場の耐震化工事が完了しました。						
今後の取組み		災害時においても、安全な水を安定して供給出来る体制を整備するため、令和5年度に北部配水場（配水池・管理棟）の改修計画を策定する予定です。						

目標7：制御不能な複合災害・二次災害を発生させない

KPI	農政課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
多面的機能支払交付金活動面積		582ha	623ha	729ha	808ha			732ha
実績値の分析・評価		令和4年度は町内で8組織が活動しており、農用地の草刈り等による農地維持活動のほか、機能診断を行い診断結果に応じて軽微な補修の実施、水路の補修・更新などの農用地の長寿命化を行っている。活動組織は交付金を利用して上記の活動を行っており、災害発生時の点検など更なる災害発生防止に貢献している。令和4年度には安塚・上長田地区が新たに組織を立ち上げ活動を開始し、活動面積が79ha増加した。						
今後の取組み		令和3年度から、田んぼダム整備が交付金の対象となったことから、各活動組織に対して計画見直しの際に田んぼダムの推進について働きかけを行っていきたい。大雨時の対応等、農家個人に負担をお願いする部分もあるため、危険の防止等様々な点を考慮し検討を進める。						

目標8：社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

KPI	生活環境課	基準値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
災害廃棄物処理計画策定状況		未策定	未策定	策定済	策定済			策定済 (R3年度)
実績値の分析・評価		令和3年度に策定済み						
今後の取組み		災害発生時に県や近隣市町と連携（宇都宮市、鹿沼市とは一般廃棄物処理に係る相互支援協定を締結）しながら、災害廃棄物を迅速に処理できるよう、継続的な計画の改善に努める。						

第5章 計画の推進及び進捗管理

1 計画の進捗管理・評価

本計画に基づく各種施策については、地域の強靱化を目的としたものであるため、壬生町地域防災計画をはじめとし、本町の分野別計画と整合性を図り推進するとともに、進捗管理及び評価を行います。

進捗管理についてはそれぞれの施策及び KPI について行うとともに、PDCA サイクルを繰り返し、全庁が一丸となって取り組みを推進します。

2 整備関連の個別事業計画一覧

整備関連の事業の個別計画は次の通りとなります。各事業の進捗状況や新規事業の追加等を踏まえ、必要に応じて見直しを行うものとします。

(1)住宅・建築物関連

	事業主体	事業名	地区名	担当課
1	町	壬生町公共施設等総合管理計画	町内全域	総務課
2	町	住宅・建築物安全ストック形成事業	町内全域	都市計画課
3	町	小中学校老朽化対策事業 (長寿命化計画の策定により老朽化対策を実施)	町内全域	学校教育課

(2)道路関連

	事業主体	路線名	工区名・事業名	事業概要	全体事業費	期間	担当課
1	町	町道 2-279 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	200 百万円	R3 年 4 月 ～ R7 年 3 月	建設課
2	町	町道 2-282 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	200 百万円	R3 年 4 月 ～ R7 年 3 月	建設課
3	町	町道 2-280 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	200 百万円	R3 年 4 月 ～ R7 年 3 月	建設課
4	町	町道 2-308 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	200 百万円	R3 年 4 月 ～ R7 年 3 月	建設課
5	町	町道 2-306 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	200 百万円	R3 年 4 月 ～ R8 年 3 月	建設課
6	町	町道 2-305 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	200 百万円	R3 年 4 月 ～ R8 年 3 月	建設課
7	町	町道 2-286 号線	壬生町おもちゃのまち地内	冠水対策	60 百万円	R3 年 4 月 ～ R8 年 3 月	建設課
8	組合	都市計画道路、区画道路等	六美町北部土地区画整理事業	通学路、鉄道駅アクセス道路等の整備	7,860 百万円	H31 年 3 月 ～ R11 年 3 月	都市計画課
9	町	駅前広場	国谷駅前広場	交通結節点の整備	-	-	都市計画課

(3)上下水道関連

	事業主体	地区名	事業概要	全体事業費	期間	備考	担当課
1	水道事業者	町内全域	上水道施設耐震化・施設更新	780 百万円	H22 ～R6	重要給水施設配水管	水道課
2	水道事業者	北部配水区	上水道施設耐震化・施設更新	-	-	北部配水場	水道課

	事業主体	地区名	事業概要	全体事業費	期間	備考	担当課
3	下水道事業者	北部処理区	老朽化調査 (更新・耐震化)	36 百万円	5 年	R2 年度実施中の老朽管調査の結果を基に更新・耐震化の計画を策定予定	下水道課
4	下水道事業者	水処理センター	水処理センター更新工事・耐震化工事	1,307 百万円	5 年	-	下水道課

(4)公園関連

	事業主体	工区名・事業名	事業概要	全体事業費	期間	担当課
1	町	公園施設長寿命化対策支援事業	施設改修等	300 百万円	R3 年度～R12 年度	都市計画課

(5)消防関連

	事業主体	工区名・事業名	事業概要	全体事業費	期間	担当課
1	町	地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化	マスク/ヘルメット/防火衣/無線機/消火器等	2 百万円	随時購入	総務課
2	町	消防防災施設の整備推進	耐震性貯水槽/備蓄倉庫	7 百万円	半年	総務課
3	町	防災情報の伝達体制の強化	防災情報システム関係	10 百万円	1年	総務課